

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市会議員 (東灘区選出)

やのこうじ

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
 TEL/FAX 078-841-2255
 ✉ yano.koji2018@gmail.com
 市会議員団ホームページ▶http://rikken-kobe.jp/



市会議員団ホームページ

編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和4年 第2回定例市会【11月議会】開催 日程(昨年11月28日~12月7日)

依然としてコロナ禍のおさまる気配が全く感じられない中、2023年を迎えました。本年も市民のみなさまが、引き続き安心・安全に暮らしていけるように、神戸市政に全力で努めてまいります。今後とも市政に対する各種ご意見、ご提案を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

一般質問 (昨年12月7日)



一般質問映像

議場で一般質問※を務め、市長、副市長、教育長から見解を伺いました。

※一般質問：市政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、説明を求め、疑問をたずねること。

1. 公園の充実について

質問 コロナ禍で子どもたちの屋外活動が推奨されている中、本市にある公園の多くは老朽化が進んでいることから、遊具の更新などで魅力向上を図り、質・量の双方を充実させていくことが必要と考えるが、今後の公園の整備方針と併せて見解を伺いたい。

市長 コロナ禍において、子どもたちが伸び伸びと遊べる屋外空間の需要が高まっており、既存の公園の機能、魅力を再生しながら、有効に活用していくことが重要であると認識している。引き続き、子どもの遊び場拠点として、子どもたちがわくわくするような遊具の整備を進め、公園全体の魅力向上を図り、にぎわいのある公園づくりを進めていきたい。

再質問 東灘区の御影公園や北区のしあわせの村において、インクルーシブ遊具※が設置されたことは大いに評価している。これまでも六甲アイランド公園や、向洋東・西公園などを「インクルーシブ公園※」として整備してはどうかと提案してきたところであるが、現在の進捗状況と今後の取り組みは。

※インクルーシブ遊具(公園)…障がいの有無に関わらず、だれもが利用できる遊具・公園



だんじり型のインクルーシブ遊具(御影公園)

副市長 多様性を尊重し、誰もが利用しやすい公園とするためには、遊具だけではなく、公園全体においてインクルーシブの視点を持ちながら整備に取り組んでいくことが非常に重要であると考えている。ご提案の六甲アイランドの公園については、駐車場や園路などの主要な施設のバリアフリー整備が完了していることから、インクルーシブな公園にふさわしい条件を備えている。しかし、遊具はインクルーシブなものではなく、一部老朽化している状況も見受けられることから、今後、遊具の更新を行う際には地域の御意見もお聞きしながら、ニーズに応じてインクルーシブ遊具への更新も検討していきたい。

要望

六甲アイランドも、まち開きをして来年で35周年を迎えるが、「遊具が傷んでいて、その傷んだ遊具を取り除き後、新しい遊具が補充されない」との声も届いている。「六甲アイランドまちの将来の姿」の9ページに、「子どもの遊び心や学び心を高める新たな体験型施設の開設」とあるよう、「こべっこあそびひろば六甲アイランド」ができたことから、ぜひ魅力的な公園になるようにお願いしたい。



六甲アイランドまちの将来の姿

再質問 六甲アイランドにあるシティヒルは、桜や紅葉などの四季折々の植栽を楽しむことができる非常に魅力的な場所であり、兵庫県のランニングコース10選にも選ばれている。

2020年11月議会で、「コース沿いの施設のリニューアルなど、周回コースの機能の充実・魅力向上を図りたい」と、副市長からの回答があった。

トイレの洋式化や照明のLED化に取り組んだことは認識しているが、距離表示設備の更新や、全体的なリニューアルは未だ実施されていない。現在の進捗状況と今後のスケジュールはどうか。

副市長 ランニングコースは、雨天後の利用にも考慮して、排水が悪い箇所や不陸のある箇所については順次補修を行うなど、快適に御利用いただけるように進めたい。

また、簡易照明により距離表示施設を見やすくするような工夫を、今年度試験的に実施し、来年度には、水飲み台をバリアフリーに対応したタイプへの更新も予定している。

引き続き、地域の健康づくりの場として、より利用しやすい公園となるよう、地元とも相談しながら施設の更新や整備を順次進めていきたい。

要望

シティヒルのブリッジのタイルが、カタカタカタカタと鳴り、触ってみたらタイルが取れた箇所もあり、ところどころ傷んでいた。

遊歩道の植栽の枝が、歩道まで伸びている箇所もあったので、改善をお願いしたい。



遊歩道の伸びた植栽

2. 地面など下部の視覚的な情報の拡充について

質問 本市においては吊り下げ看板など天井を活用する事例は多くあるが、地面を活用する事例は少ないと感じている。

例えば、網の目のように張り巡らされている点字ブロックを活用し、誘導ラインと見立て、その分岐点に行き先を案内するサインを設置できないか。

頭上にある案内サインを確認することが困難な高齢者などに対応したユニバーサルデザイン※としての観点や、今後、神戸空港の国際化や万博開催などにより、観光客の増加が見込まれることを踏まえれば、積極的に地面などの下部を活用し、案内サインの改善を図っていくべきと考えるが。

※ユニバーサルデザイン…出来るだけ多くの人が利用できることを目指した建築（設備）・製品・情報などの設計（デザイン）のこと。

副市長 案内サインの整備は、ユニバーサルデザインの観点からも重要な要素だと認識をしており、見やすさや読みやすさを考慮したフォントやサイズ、色の使用や組合せ方にも配慮をしている。また、案内地図サインでは、車椅子利用の方にも近寄りやすく、見やすい高さに設置するなどの工夫も行っている。

今後、神戸空港の国際化からも、外国人を含む多様な方々の来訪が期待されることから、案内サインの充実はますます重要になると考えている。他都市における取組を収集するなど、幅広い観点から整備の可能性を研究したい。

要望 私が市会議員になり、駅から市役所まで向かう時に、長い点字ブロックが多くあり、それを何か活用できないかという思いがあった。

管外視察の際に、品川駅を降りてからこのブルーの線を伝って行くと、新幹線の改札口まで迷わずに行くことができた。これは子どもでも迷わず、高齢の方には視線の下部に、視覚的なものがあれば、より分かりやすいと思うので、ぜひとも取り入れていただきたい。



再質問 9月議会において、身体障がい者や高齢者が安心してエスカレーターを利用できる仕組みとして、都心・三宮再整備において、エスカレーターに足形のマークを付けてはどうかと提案した。



9月議会の質疑の様子

「他都市の先進事例等を参考に検討していきたい」と前向きな答弁から、実現に期待しているが、まずは、駅前広場のリニューアルやエスカレーターの新設が行われている西神中央や、神戸新交通が運営するポートライナー・六甲ライナーの各駅など、すぐに着手可能な場所から実施してはどうか。

副市長 足形マークは、他都市の状況（設置の効果、利用者のご意見等）についてのヒアリングを始めている。また、路面への啓発シールなど、足形マーク以外の方法で啓発に取り組んでいる都市にも併せてヒアリングも行っている。引き続き、状況をよく確認しながら対応を考えていきたい。

要望 市役所から花時計前駅へ行くところの交差点や、サンポチカ※の元町側の分岐のところには何か案内ができれば、上を向かなくても下だけ見たら分かるので、引き続き検討をお願いしたい。



※サンポチカ地下（三宮中央通り地下通路）…通行する方楽しんでいただけるよう「変化に富んだ、歩いて楽しい空間づくり」をコンセプトとし、地下通路のリニューアルを実施し、昨年11月1日より全面開通。

3. 戦災展示資料館について

質問 戦後80年を迎えるにあたり、大空襲を乗り越え発展してきた本市にとって、戦災学習への活用の観点からも、戦災関連資料の展示は重要だと考えている。

本市における戦災関連資料の展示については、兵庫図書館での常設展示や、戦災関連資料展を中央図書館で8月に開催するなど、取り組みが行われているが、例えば震災関連資料を展示している「ふたば学舎※」などを活用し、更なる常設展示スペースの確保やデジタルコンテンツ（情報内容）の活用など、充実した展示内容とすべきでは。



※ふたば学舎…昭和4年に建設され、戦災・震災を乗り越えた地域のシンボルである旧二葉小学校を地域活性化拠点として活用するため、平成22年に再整備された。

副市長 更なる常設展示スペースの確保については、現在、新たに整備をしている歴史公文書館に、戦災を含む神戸の歴史を回顧できる常設展示を設ける予定にしている。

また、歴史公文書館では、寄贈された資料や写真パネルなどの展示に加えて、動画の放映やスマートフォンを用いたデジタルコンテンツの活用も検討している。

平和の尊さを後世に伝えていく取り組みとして、引き続き戦災関連資料の収集を進めるとともに、収集した資料の展示や市のホームページの掲載などを通じて、情報発信の充実に努めていきたい。

再質問 昨年（令和3年）の夏に市民の方から、「戦争体験者が、どんどん少なくなってきたり、語り継ぎという観点ではもう時間がない。何とかそういう施設ができないか」と話を伺った。『絵手紙さんぽ』という書籍に、

「年末ジャンボを初めて買った母、願いは神戸に平和資料館をつくること、平和の大切さ、戦争の恐ろしさを、若い人たちに伝えたい、私は空襲を知らない世代、母の話を聞いても、あまりピンとこないけど、平和でなければ、今の私の毎日が、ないことだけは確かです」とつぶられていた。

「年末ジャンボが当たったら平和資料館をつくりたい」

そんな思いを市民にさせるべきでしょうか。何とか戦災展示資料館を、戦後80周年に向けて開設できないか。

副市長 ウクライナの侵略等、平和の重要性を国民全体が認識をする非常に大きな基点に今なっている。展示内容の工夫や心に届くようなコンテンツの充実は、これからも心がけてやらせていただきたいと考えている。また、施設の充実は、歴史公文書館の中で、今回新たな展示スペースも確保する予定であり、平和の重要性というご指摘を、しっかり受け止めて対応に努めていきたい。

4. 大学等と連携した地域の活性化について

質問 神戸は個性あふれる多様な大学が数多くある全国有数の大学都市であり、大学との様々な連携事業を展開している。また、大学は食堂の一般開放やイベントの実施など、地域住民の生活の質向上の観点においても非常に重要な要素であり、市としても「大学都市」という強みをさらに活かしていくべきであると考えます。

東灘区においても、9月に「日本一の学食」がオープンした神戸国際大学や、スポーツ・健康科学を通じた地域社会への貢献にも力を入れる甲南大学など魅力的な大学がある。

これらの大学との連携をより積極的に進め、地域の交流促進や活性化を図っていくべきではないか。

市長

の議員からご紹介があった神戸国際大学には、私も先日参りまして、意見交換もさせていただいた。9月に全面リニューアルをされた学生食堂は、大変おいしそうなメニューが、学生の皆さんのアイデアで提供されていることにも感銘を受けた。

甲南大学、甲南女子大学、神戸薬科大学の区内3大学では、迅速に職域接種を実施。地域住民にも一部を開放するとともに、市の集団接種会場として大学施設の無償提供をいただくなど、地域社会の感染防止、医療負担の軽減にも貢献をいただいた。

大学が集積する神戸の強みを生かし、大学と学生と行政、企業も含めた地域社会と多様な接点を創出し、産学官共創の推進と人材育成の推進体制づくりを構築していきたい。

再質問

六甲アイランドにある神戸学園は、昨年行われた第4回全国高校eスポーツ※の選手権で準優勝するなど、eスポーツに力を入れておられ、東京オリンピックのプレイベントで採用されるなど、国内のみならず、世界的にも非常に注目されている。

例えばファッションプラザの空き室や映画館跡地を活用し、神戸学園と連携したeスポーツの取り組みを行い、六甲アイランドをeスポーツのメッカとすることができれば、多くの方が神戸を訪れ、観光、宿泊につながり、六甲アイランドはもちろんのこと、神戸市全体の活性化にも大きく寄与すると考えるがどうか。



六甲アイランド ファッションプラザ

※eスポーツ…コンピュータゲーム(ビデオゲーム)をスポーツ競技として捉える際の名称

副市長

六甲アイランドのファッションマートで、これまでeスポーツの関連の大会が11回開催され、合わせて約1万7,000人の来場者があったほか、eスポーツ事業に取り組む民間事業者が、六甲アイランドに事務所を構えていることから、eスポーツの拠点となる可能性を有する地域であると考えている。

また、神戸学園の取り組みは、全国的にも大変注目をされている。神戸ファッションプラザの映画館の跡地などは、現在、民間事業者が所有しており、基本的には所有者の意向が優先されるが、本市としても引き続き、神戸学園、ビルの所有者とも密に情報共有や連携を図り、eスポーツを活用した取り組みなども含めて様々な可能性を探っていきたい。

要望

六甲アイランドは、インターナショナルスクールもあり、外国人との親和性も大変高い地域である。国内外から多様な人が集まり、集積する六甲アイランドで、日展が行われ、グランピング施設の誘致や関西万博に向けて、神戸空港の国際化も予定されている。

マリンパークを海の玄関口としても、視野に入れていただきたい。



六甲アイランド マリンパーク

事例紹介

今年(令和4年)の9月に御影クラッセで、スマスイと連携した「地域活性化で出張!スマスイ特別展示会」行われた。コロナ禍で子どもたちが出歩けない中、目をきらきらさせながら水槽を見ている子どもたちの姿が今も残っている。

神戸学園には立派なアクアリウムや爬虫類、両生類、ペンギンも飼育され、トリミングサービスやドッグトレーニングもあり、地域で犬を飼われている方も連携できればと思う。

また、神戸国際大学には、地域の交流担当も新たに設けられた。コロナの前は、神戸国際大と甲南大の学生によるクリスマスイベントが行われ、非常に盛り上がった話も聞いている。アフターコロナに向けて、まちの活性化もお願いしたい。

要望

六甲アイランドには本屋が無く、住民にとって東灘図書館が、非常に重要な役割を果たしている。先日も島民のお母様方から、「子どもが2人いて、絵本20冊を返しに行かなければならない。せめて島内で返却だけでもできないか」とご相談を受けた。

返却ポストの増設を、是非とも頑張ってください。



スマスイ特別展示会の様子

**5. 教員の不足問題について****質問**

若手教員が先輩教員と連携しながら、ステップアップできる環境を整えることは、大変効果的である。

教職経験が豊富な方とチームを組んで、中学校の複数担任制のような形を小学校でも検討するなど、日常的に複数で若手教員を支える仕組みが構築できないか。

教育長

来年度は、多くの新規採用教員を迎える中で、元管理職を含む再任用教員など、経験豊富な教員を初任者研修の指導教員として積極的に登用をするとともに、採用前研修及び初任者研修の内容も、より充実をさせていく必要があると考えている。また、面談等によって事後のフォローも行いながら、若手教員のさらなる育成にも取り組んでいきたい。

さらには、学年担任制も今導入の検討を進めているところであり、今後もこのような効果的な仕組みをつくることにより、若手教員を支えて成長を促していきたい。

要望

学校現場にいたときに、採用1年目で100人を超える方が辞めていかれる情報を聞いたことがあった。それぐらい、いきなり独り立ちして先生になることは難しいことだと思っている。

今、ワールドカップが行われているが、今朝のニュースで試合と試合の間に出場を終えた前田選手が、各選手に水を配り、堂安選手が帰ってきた選手の足を揺らしてほぐしたり、長友選手が声をかけ回ってケアをする姿を見て、学校もまさしくそれが必要ではないかと思った。

団塊の世代の先生方がたくさんご退職され、今の学校現場は、非常に若い学校集団になっている。学校は目の前の子どもたち、そして保護者や地域のみなさんと日々接することからも、いろいろな世代の先生方がチームとして、ワールドカップのように支えていく観点が改めて大事ではないか。

昨年12月16日の本市教育長記者会見を通して、今春から、「学年(チーム)担任制」を、市立小学校2校、中学校2校のモデル実施校に導入されることが決まりました。

**質問の最後に**

世界パラ陸上 KOBE 2024



世界パラ陸上が、幸運なことにも2024年に神戸で開催される。先日も本山南中学校では、パラのアスリートと生徒さんが関わる企画があった。

これを機会に、ワールドカップで盛り上がっている空気を、神戸での2年後の開催に向けて、しっかりと共有いただきたい。

そして、市民のみなさんと大会を盛り上げ、大会が終わった後には、「また神戸に帰ってきたいな」「神戸のまちは良かったな」という声が、神戸空港の国際化につながるように、引き続きご尽力をいただきたい。

外郭団体に関する特別委員会



質疑の様子



外郭団体に関する特別委員会の様子

企画調整局（公立大学法人 神戸市外国語大学）への質疑（昨年12月15日）

1. 大学の教育機関としての質の担保について

質問 来年度から、神戸市立工業高等専門学校との同一法人化のものと運営が、非常に良い方向で動いていけばと期待を強く持っている。

そんな中で、大学の教育機関としての質を担保するために、高い研究力を維持し、そして一層向上させるために、どのような方策をお考えなのか。

大学事務局長 研究経費の確保に大学全体として協力することで、結果として質の良い高い研究が、教員全体として取り組めるような環境整備に努めており、今後も引き続き努力をしていきたい。

要望 少子化が進む中、これから大学の経営が難しくなってくるのはもう目に見えている。研究支援体制の強化は不可欠なので、引き続きの支援をお願いしたい。

2. 一般向けの各種講座のオンデマンド化について

質問 英語の教育オープンクラス（現職の市内小中高等学校の教員対象）は、可能であればオンデマンド※対応を今後やっていただけませんか。

※オンデマンド…見たい時に視聴できるサービス。

大学事務局長 市内の英語教員に、長年この活動を続けている。いただいたご意見を、学内で検討したい。

要望 ホームページを拝見したら、「大学の講義の雰囲気味わうことができた」「現職の教員にとってはありがたい機会だ」など、前向きなアンケートの回答があった。見逃した後にもまた見れるように、市民サービス向上の検討を、よろしくをお願いしたい。

健康局（公立大学法人 神戸市看護大学）への質疑（昨年12月23日）



神戸市内就職奨励金制度の周知について



質問 看護大学における神戸市内就職奨励金制度の内容が、政令市の看護系大学の取り組みとして全国初で行われたことを大変評価している。

今、経済観光局が「コーペイ」や「エールクーポン」など、市民にお得な取り組みをしているが、『広報KOBE』を全市民に配付しても「知らなかった」という声を多々聞いている。

今回この制度を創設し、希望する学生さん、保護者の方にも喜ばれる取り組みだと思うが、どのように周知をしていくのか。

大学法人本部長 広報チラシを作成し、夏のオープンキャンパスでも配布し、学校関係へ送付した。また、駅・ショッピングセン

ターのデジタルサイネージや、本学の公式のアカウントSNSを活用し、この制度について広報している。

引き続き広報に力を入れ、できるだけこの制度をたくさんの皆さんにご利用いただけるように努めたい。

要望 令和4年度の志願状況を見ると、神戸市内の入学者が22人（23%）と少なく、就職に関しても、看護師（53%）、保健師（44%）と、まだまだ大いに期待をしたいところだ。

学生の声から、パウダーコーナー開設やWi-Fi設置も行われたが、日々のキャンパス生活が快適であることが、「神戸市看護大学、いいよ」に繋がる。引き続き、学生からの声をよく聞きながら、環境整備の拡充もお願いしたい。

市長への教育予算増額と地域課題解決の要望（昨年12月26日）

1. スクールサポートスタッフと小学校教科担任制に係る人材の拡充

○チルドレンファースト！（子どもが主役）未来を担う神戸っ子の豊かな学びの保障のために！

2. 本山第一小学校敷地内の古木3本「重五郎梅」の保全

○努力の末、大粒で美味しい梅の実の改良に成功した、地元岡本の重五郎さんの名前にちなんで名付けられた。現在、重五郎梅の周りはコンクリートが敷き詰められているため、これを撤去のうえ、地域住民の交流と憩いの場に！

3. 小寄公園（旧本山交通公園）にある神戸市電への屋根の設置

○展示中の神戸市電1150形1155号車は、神戸市電最後の形式の大変貴重な車両です！



市長への各種要望の様子



重五郎梅の剪定作業時の様子（本山第一小学校）



神戸市電 1150形1155号車（小寄公園）

神戸市からのお得な情報



神戸のファッション産業製品を「最大3割引」で購入できる「神戸ブランド・エールクーポン」は、市内メーカーが製造したアパレルや靴、スイーツなど様々なファッション産業製品が、最大3割引で買える大変お得なwebクーポンです！

クーポン利用期間：

令和5年2月15日（水）まで

※但し、本事業の予算が上限に達した時点で早期に終了する可能性があります。

